

'98全日本ラリー四輪駆動部門 第6,7戦Bクラス **鎌田豊選手** CMSC 道北 **今季5勝で** **シリーズパーフェクトチャンピオンに決定!**



'98全日本ラリー四輪駆動部門 第6,7戦 CMSC入賞者(3位以上)



CMSC埼玉 田口幸宏選手 Cクラス 第7戦2位

CMSC鹿児島 中尾晃選手 Bクラス 第7戦3位

CMSC道北 杉山聡選手 Bクラス 第6戦3位

シリーズチャンピオンを決めた鎌田選手のまさに力強い走り。(第6戦)

今季Bクラスでは前戦まで5戦中3勝、2位2回と圧倒的な強さのCMSC道北・鎌田豊選手。その勢いは留まるところを知らません。

7月4,5日、北海道勇払郡占冠村「アルファリゾートマム」をスタート、夕張市「ファミリースクールひまわり」をゴールに開催された第6戦「'98ノースアタックラリー」でも、鎌田選手は圧倒的な強さを発揮。15本のSSの内、13本を制する走りでシーズン4勝目。シリーズ有効ポイントも大きく2位以下を引き離し、早くもシリーズチャンピオン確定となりました。

Bクラスでは以下、2位鷹野健太郎／川村知恵選手組、3位杉山聡選手のCMSC道北勢が入り、今季2度目の道北上位独占となりました。

続く第7戦「ひえつき'98夏」は7月25,26日、宮崎県東臼杵郡「椎葉村運動公園」をスタート・ゴールに開催。当日は雨、ウェットコンディションでのラリーとなり、Cクラスの最終SS12は、途中土砂崩れのためキャンセルになるというハプニングもありました。Bクラス鎌田選手はまたもやSS12本中11本を制するという、手の着けられない強さ。今シーズン5勝目でベスト5戦のポイントが有効なシリーズ争いにおいて、見事パーフェクトチャンピオンに輝きました。

CMSC勢では、CクラスでCMSC埼玉・田口幸宏選手が2位でゴール。BクラスではCMSC鹿児島・中尾晃選手が3位入賞しています。

'98全日本ラリー四輪駆動部門 第8戦 **Bクラス 鷹野健太郎／川村知恵選手組** CMSC 道北 **全日本戦初優勝。**



'98全日本ラリー選手権(四輪駆動部門)第8戦「'98 RALLY in Akaigawa」が9月5,6日、北海道余市郡赤井川村の「キロロリゾート」をスタート・ゴールに開催されました。北海道らしいダイナミックかつ、SS総距離が100kmを超える長くハイスピードな設定となった今回のラリーではリタイヤが続出。完走は参加計43台中、わずか18台となりました。

BクラスではCMSC道北・鷹野健太郎／川村知恵選手組が、2位に5分49秒の大差をつけて、全日本選手権で初優勝しました。Bクラスでは前戦でパーフェクトチャンピオンに確定したCMSC道北・鎌田豊選手をはじめ8台中6台がリタイヤ。鷹野／川村組は残る2台の一騎打ちを制し、うれしい勝利。シリーズポイントでも鎌田選手に次ぐ2位につけています。

ブツギリの走りで、待望の全日本戦初勝利を挙げた鷹野・川村コンビ。

スーパー耐久シリーズ'98
第5戦クラス2

小川日出生選手

CMSC
山形

十勝24時間を制す!



スーパー耐久シリーズ'98第5戦「第5回十勝24時間レース」は7月17～20日、北海道「十勝インターナショナルスピードウェイ」にて開催されました。クラス2ではここまで3連勝のランサーエボV。今回は24時間の長丁場で耐久性も要求され、その走りに注目が集まりました。

19日午後3時から翌20日午後3時までの24時間レースは、晴れのち曇りのドライコンディションの中スタート。



予選で3番グリッドを獲得したCMSC山形・小川日出生選手組エボVが、1番グリッドスタートのエボVと終始激しいトップ争いを展開。終盤での同一周回での接戦バトルを制した小川選手組が、今季初優勝を果たしました。総合でも2位で、エボVはクラス2での4連勝達成となりました。

接戦を制して今季初勝利の小川選手とエボV。

'98ミラージュカップ
東北シリーズ第2,3戦

高橋しげる選手

CMSC
仙台

圧倒的強さで連勝!



開幕から絶好調の走りを見せる高橋選手。シリーズチャンピオンは目前だ!

'98ミラージュカップ・東北シリーズ今季開幕戦を優勝で飾り、好スタートを切ったCMSC仙台・高橋しげる選手が快調な走り続けています。

6月27,28日の第2戦、8月23日の第3戦はともに宮城県「仙台ハイランドレースウェイ」で開催されました。仙台ハイランドは昨年3戦3勝のコース。「ドライバーも車も万全」という監督の言葉通り、2,3戦ともポールポジション獲得の高橋選手。第3戦のスタート直後に後続選手にかかわれる場面こそありましたが、圧倒的速さと危なげのない落ち着いたレース運びで、なんと開幕から3戦連続のポールトゥウィン達成。まさに他の選手には手のつけられない状態です。次戦の結果次第では、早くも念願のシリーズチャンプ獲得が確定することになります。全勝のパーフェクトウィンも夢ではない勢いです。

また、ミラージュ・カーブラザカップ・シリーズでも活躍中のCMSC山形・エド・ムラサキ選手も、第2戦3位、第3戦2位と上位で活躍しています。

'98ミラージュ・カーブラザカップ
シリーズ第3戦

エド・ムラサキ選手

CMSC
山形

2位入賞で今季大活躍。

7月5日、'98ミラージュ・カーブラザカップ・シリーズ第3戦が、筑波サーキットにて開催されました。コンディションはドライ、参加台数は29台でした。

今シーズン、ミラージュ・カーブラザカップ・シリーズとミラージュカップ・東北シリーズに参戦し続け、2シリーズとも常に上位争いに食い込む活躍を見せている、CMSC山形・エド・ムラサキ選手は、予選で4番グリッドを獲得。

猛暑となった午後の決勝。前半から2番手まで上がったエド・ムラサキ選手は、中盤もトップとのテール・トゥー・ノーズを続けます。終盤トップに引き離されましたが、見事、決勝ベストタイムを出したエド・ムラサキ選手は、シリーズ今季最高位の2位でゴール。残り2戦の活躍も大いに期待できそうです。



上位入賞連続で大活躍する奇名!!エド・ムラサキ選手。

CMSC栃木 川口法行
筑波9時間ナイター耐久レース参戦記

好判断で、うれしい総合4位、クラス3位。

8月8日、天気も良く絶好のレース日和となりましたが、気温が32℃まで上がり、湿度も55%近くあったためオーバーヒートの兆候があり、予選は極力少ない周回数で切り上げることにしました。結果、予選3位で良いポジションを獲得できました。

午後9時スタートとなり、気温も日中と比べ多少下がったため、オーバーヒートの心配もなく、ポジションも3～4位をキープ。ところが4時間が経過した頃、前車が飛ばした異物によりフロントガラスに大きなヒビが入ってしまいました。しかしドライバーの判断で次のピットインまで何とか周回を重ね、ピットでの応急処置も短時間で済みました。

7時間が経過した頃、他チームのピット作業やベースカーが入るなどの番狂わせもあり、一時はトップ車両を目前に走行することもありました。

結果、トップより2周遅れの総合4位、クラス3位入賞でフィニッシュすることが出来ました。

ラリーアートさんのお力添えのお陰で良い結果を出すことができ、チーム一同感謝しています。次回も頑張ります。



総合4位、クラス3位を獲得したCMSC栃木チーム。

'98全日本ジムカーナ
第5戦CⅡクラス

小館久選手 CMSC青森 2ヒートとも制し完勝!

後半戦の開始となる'98全日本ジムカーナ選手権第5戦「'98サ・スラロームイン北海道」が6月28日、北海道千歳市の「スポーツリンク・チトセ」に7クラス102台が参加して開催されました。

今回、CⅡクラスでは、唯一の三菱車エントリーとなったCMSC青森・小館久選手がランサーエボリューションで孤軍奮闘しました。小館選手は今回よりエボVのピストンを組み込んだエンジンにして出場。「レスポンスがすごく良くなった」という小館選手は第1、第2ヒートともに唯一人1分18秒台を叩き出す他を寄せ付けず走り、昨年開幕戦以来となる久々の勝利を手にしました。「今回のエンジンは先週出来上がったばかりのぶっつけ本番で、過給圧も押さえ気味。今後は過給圧ももう少し上げられるよう改良するつもりです」と小館選手。後半残り3戦へ向け、さらなる意欲を見せていました。



久々の勝利は完勝。後半に期待が持てる小館選手とエボ。

'98全日本ダートトライアル第4,5,6,7戦 CMSC入賞者(3位以上)

CMSC大阪
小出久美子選手
レディースクラス
第4戦2位
第5戦優勝(写真)
第6戦2位

CMSC大阪
藤原雄一郎選手
AⅢクラス
第4戦3位
第7戦2位(写真)

CMSC岐阜
三枝光博選手
AⅣクラス
第4戦2位

CMSC山形
八島功敏選手
CⅢクラス
第4戦3位

CMSC大阪
秋間忠之選手
Dクラス
第4戦3位

CMSC大阪
吉村修選手
AⅡクラス
第5戦3位

CMSC広島
河内涉選手
Dクラス
第5戦3位

CMSC札幌
宝田芳浩選手
AⅣクラス
第7戦3位

地方選手権優勝者

CMSC岩手 四戸岳也選手
6月21日
東北ダート第5戦「モンデールレーシングダートトライアル」
AⅣクラス優勝
8月23日
東北ダート第7戦「MSC十和田夏のダートトライアル」
AⅣクラス優勝

CMSC山形 湯本敬選手
6月7日
関東ダート第6戦「ダートトライアルフェスティバルIN信州」
AⅣクラス優勝

コートの連続コーナー 10
CMSC島根
古藤 浩美

明日はどちらだ!?

CMSC青森 7月25～26日
'98ツール・ド・東北

ラリーの灯を消すことなく続けよう!

「'98JAF東日本ラリー選手権四輪駆動部門第4戦 '98レカロカップ ラリースカラシップシリーズ第6戦」と長いタイトルの今年の「'98ツール・ド・東北」主催はもちろん我がCMSC青森。遠くは熊本、愛媛、滋賀、大阪あるいは関東と、まるで準全日本並み?。全国各地からのエントリーが「岩木山のある町」岩木町に集合して開催されました。

昨年まではSS・ラリー区間とも1秒1点の減点方式でしたが、今後はより国際レベルに近いラリーを目指そうということで、ラリー区間はほとんどが分計時もしくは分申告とし、SS重視のラリーとしました。SS重視のため今回は「レキ」を導入。そのためオフィシャルのクラブ員は早朝から大変でしたが、エントリーには好評でした。

もう一つ今までと大きく違う点は救急体制の確立です。

これまでのラリーではエントリーに救急病院の指定を公式通知で示すだけでしたが、万一に備え各SSに救急資格のある救急班と車両を配置。更に専門病院が、医師が速やかに現場へ急行できる緊急体制をラリー終了までとってくれたことです。

さてラリーには昨年に続きCクラスにCMSC群馬の細村・船津チーム、Bクラスにはクラス成立のためにと、CMSC秋田から近藤・須田チームが駆けつけてくれました。Cクラス細村チームは第2ステージの猛スピードも僅かに及ばず2位。Bクラス近藤チームは、借り物ミラージュでのアクセル全開の走りで見事優勝してしまいました。おめでとうございます。

ラリー開催には周到な準備と安全なコース設定を要求されますが、今年もクラブ員が頑張ってくれました。参加台数の減少もありましたが、事故無く終えること



スタートゲートと先行車。

ができ、競技内容や運営もおおむね成功と自負しております。来年もまた安全でよりスポーツ性の高いCMSC青森のラリーを開催できるよう頑張りたいと思っています。(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)

「'98ツール・ド・東北」パートII

ラリーの反省会ではないのですが、7月31日夏祭りの一夜、鶴ヶ谷会長宅ガレージに於いて、超ささやかな「焼き肉、ホタテ、生ビールの集い」を催しました。参加者数は最初約60名でしたが、最終的には収拾不能でした。その消費量は普通では考えられない量なんです。やっぱりCMSC青森はお酒大好きクラブでした。クラブの夏祭り(お酒をたしなむ会)に華を添えてくれたのは、ジムカーナ大好きマン、小館氏ご子息で中学1年生作のネプタでした。

(CMSC青森 工藤克憲)



小館選手ご子息作の見事な「ネプタ」(写真右)



Bクラス優勝 CMSC秋田会長 近藤隆行

青森の鶴ヶ谷会長よりBクラス成立のためミラージュで走って欲しいとの依頼があり、今回ミラージュをレンタルして参加しました。始めは自分のCNで走りたいかと思っておりましたが、なんとクラス優勝してしまい、鶴ヶ谷会長が急に神様に見えてきました。14年ラリーをやってきて東北戦では何回も勝っているのですが、BC地区戦になってから2位、3位は何度かあったのですが優勝は今回が初めてで非常にうれしいです。最後に楽しいラリーをありがとうございました。秋田も青森を見習って頑張っていきます。



急遽Bクラス出場て勝利した近藤(写真右上)・須田(写真右下)チーム。



CMSC群馬 細村謙一 Cクラス2位

久しぶりのラリーだったので、1ステはあまり調子が出なくてとても遅かったのですが、2ステは気持ち良く走れました。CMSC青森のラリーは、オフィシャルの方が皆一生懸命で、いつもとても素晴らしいラリーを作ってください。これからもこのようなラリーを続けて行っていただきたいと思っています。

CMSC群馬 船津康一 Cクラス2位(ナビ)

昨年までドライバーでラリーをしていました。「ツール・ド・東北」はCMSC青森の皆さんと会う(飲む)のが楽しみで毎年出場しています。今回はナビでの出場。ドライバーは私を師と仰ぐ(?)細村謙一君です。彼はシーズン直前の4月に愛車エボIVを転倒させてしまい、シーズン前半を棒に振っており、後半巻き返しの為にもここは頑張らねばとラリーをスタートしました。

レキで作った初体験のベースノートは読むタイミングが難しく、1ステの終わる頃ついに細村君をキレさせてしまい、昨年まで私と組んでいたナビの気持ちが痛いほどよく理解できました。しかし、2ステに入るとノート読みが上手くなったのか、細村君がインターCOMの電源を切ってしまったのか(?)好タイムを連発するようになり、興奮のうちにゴール!プラנקをものともせず銀メダルを獲得できました。

競技終了後は鶴ヶ谷会長の自宅にての打ち上げパーティにまで交えていただき、本当に楽しい三日間でありました。誌面をお借りしてCMSC青森の皆さんにお世話になったお礼を申し上げます。

CMSC香川 7月11～12日
'98CMSCダイヤスターラリー

初めてのオールターマックラリー開催。

'98CMSCダイヤスターラリーを、香川では初めてのオール舗装で主催しました。香川でもラリーフィールドの確保が困難になり、少しのダートを使うなら全て舗装でやろうということになりました。さて今回はフルグリッドにもう少しの55台のエントリーで、三菱車は半数以上の35台でした。

残念ですが来年はラリーをお休みしようと思います。クラブの体制を整えてから(独身や学生が少なくなつた)やりたいと思います。

(CMSC香川 白井 修)



CMSCダイヤスターラリー



B1部門1位松原・原組(写真上)。C1クラス表彰(写真下)。

CMSC愛知 7月26日
CMSC愛知ダートトライアル

125台参加で充実の一日。

7月26日にCMSC愛知ダートトライアルINダイナランドを開催しました。97年の第1回の時は40台の参加台数でしたが、今回は125台の参加があり、熱い走りで皆さん一日楽しんでいただけたと思います。また、地元のカープラザ(愛知中央三菱様)の応援もあり、三菱車ユーザーの皆さんに粗品を渡すこともできました。オフィシャルにとっても充実した一日でした。(CMSC愛知 小玉憲司)



家族で満喫、バイクスピーク。

岩田選手のお嬢さん岩田友理子さんからのレポートです。(編集部)

第76回「バイクスピーク・オートヒルクライム」に今年も参加してきました。昨年は他の日本人選手のサービスの方が手伝って下さったのですが、今年は全て父と弟が中心に、いつもは見ていただけの母までが手伝い、本当に家族で頑張って車のメンテナンスを行いました。父は昨年までと比べ、より気合が入っていたようで、暇な時間はレンタカーで何度も、普段は観光用道路であるコースを走りに行っていました。

過去の参加では、第73回大会は天候に恵まれず全コースを走れず、第75回大会は車の不調で思う走りが出来ませんでした。今大会、そんな無念さをきつと胸に抱えていたであろう父の、ゴールした直後の顔は満面の笑みで、結果よりタイムより何より、自分の思い通りの走りが出来た事がうれしかったようでした。車を渡航させる前にラリーアートさんに色々協力していただけたお陰で、エンジンも快調に動いたからと感謝しています。タイム12'54"51、オープンクラス第4位で過去最高でした。全ての車がゴールした後下山すると、観戦に来ていたギャラリーの方達が道路脇に出てきて、選手に手を振っていました。その中を私も下山しましたが、とても気持ちよくて父が何度も来たがる気持ちがすごくよく分かりました。

ところでバイクスピークにはレースが目的ですが、他のことでも私たち



家族は色々楽しんでいます。毎日の食事も自炊なのでその食材をスーパーで買うことだけでも、色々変わった物があるので、ついつい時間が長くなってしまいます。地元の美味しいチョコから変わった芸術品まで、おもしろい店がたくさんある「オールドコロラドシティ」も楽しい所です。ゴルフ好きの母は、車のメンテナンスでお世話になっている工場の社長の計らいで、会員制で内閣総理大臣も利用したブロードモアゴルフ場でプレイでき、すごく上機嫌でした。こうして父だけでなく私達家族も、バイクスピークを思いっきり味わってきました。



家族全員で挑戦し過去最高のオープンクラス4位!

WRC初参戦! 完走!

ついに念願がなつてニュージーランドラリーに出場しました。昨年10月に参戦を決めたのですが、アツという間に出発の日を迎えてしまいました。日本を離れること自体が2回目、緊張しつつレキスタート。レキ車はレンタカー+ノーマルタイヤ。道が広いのとあまり曲がっていないこともあって100km/hを越えることもしばしばなのですが、今年のNZの冬は雨がが多く路面が湿っていて柔らかいので、やっかいな事の上ない状態。

7月24日よいよラリースタートの日。この日は車検&スーパーSS1本のみ設定でしたが、残念ながら朝からずっと雨。特設会場のスーパーSSはスタスタで大変なスタートとなりました。翌25日も雨。26日のleg2はさらにひどい雨。路面は日本のウェットダートと比べて滑る上に高速なので、ちょっとしたミスで即コースアウトしてしまいそうでベースが上げられずにフラストレーションがたまるばかり。今回の目標は絶対完走な

のだ!

最終leg3の27日、やっと晴天に恵まれ、NZの評判通りの高速硬質ダートを走ることができました。「やっぱりこうでなくっちゃ」という道を、自分なりにいくらか走れてちょっとだけ満足しましたが、この悔しさは来年ぜひ晴らしたい!結果は総合31位、グループN9位でした。WRCに参戦して一番感じたことは「世界ってデカいなあ」という事。何かって言われると困るのですが、漠然とそういう印象を受けました。とても有意義な体験でした。

最後になりますが、今回の参戦に際しましてご協賛いただきました各社各位、サービスのため現地同行していただいたテンドー関係者各位、誠にありがとうございました。



ナビのCMSC福島佐藤忠直選手と。(写真上)
念願のWRC参戦で懸命に走る丹羽選手。(写真下)

メカのお陰でうれしい完走。

7月24日、待ちに待ったNZラリーのスタートです。コドライバーシートには通算5回目のコンビを組むCMSC広島の野村左江子が取っています。我がラリーアート・CMSCランサーはスタートランプを後に、デュアルレースを行うSS1に向かいます。対戦相手は地元レディーストップドライバー、ベネッサのグループAランサーです。デュアルレースは初めてとはいえ、グループAランサーの加速にはやたら感心しました。



川に落ちるハブニングを乗り越えて完走した中島選手。

7割程度で走ったleg1では、私の後ろを走るベネッサが私のグループNランサーとタイムがあまり変わらない為、機嫌が悪い様子。出走順を上げたleg2。準備期間を入れ18ヶ月目にして大ハブニングが発生しました。ベースを上げたSS14、折りからの大雨でベースノートには無い大きな水溜まりに足を取られ、そのままその先の増水した川に頭から落ちてしまいました。大きく遅れはしたもののギャラリーに助けられサービスにたどり着き、日本から同行したメカの今田さんや外人スタッフの大活躍で事無きを得ました。leg3は快調に走り、オークランドのゴールランプに総合39位グループN12位で、感動と涙とともに登ることができました。

最後にラリーアートをはじめとする皆さんの力をお借りして完走できた事に感謝します。ラリーハンザイ! 友情バンザイ!

CMSC帯広

夏のダートラ練習会

今年も昨年に引き続き夏のダートラ大練習会を開催しました。今年是不順な天候が続き、当日もあいにくの雨でしたが、お盆にも関わらず集まった24人は熱心に走り込んでいました。

恒例の焼き肉で腹を満たした後はダートクロスで盛り上がり、車三昧の一日となりました。シーズン後半に向けてチーム員のよりいっそうの活躍を期待させる練習会でした。(CMSC帯広 中村洋次)



CMSC青森 6月28日,8月16日
CMSC青森ジムカーナ第2,3戦

大盛況の'98ジムカーナシリーズ。

'98CMSC青森ジムカーナシリーズ第2戦は6月28日、第1戦に続きすっかり馴染みとなった岩木山麓の岩木山スキー場駐車場で開催。第1戦ではジムカーナ参加台数として過去最高の93台。これ以上は増えないと思っていたら、今回、原因不明???の95台と記録をあっさり更新。1戦目と同様、運営はコース設定や参加台数に合わせて2台をコースに入れてスムーズに行き、エントラントから好評でした。

第3戦は同じ場所でお盆の8月16日に開催。当クラブ主催のジムカーナ始めて以来の雨でしたが、参加台数は今後二度と無いであろう115台を記録しました。(我々もビックリ)ローカルイベントでは最近参加台数が減少傾向にある中で、100台を越えた事はすばらしいことだと思います。ちょうどお盆の里帰り中のジムカーナファンが北は札幌、南は東京から集まってきてくれました。一年ぶりに見る顔、奥さんや子供と一緒にの懐かしい顔や会話が会場のあちこちで聞かれました。

午前中降っていた雨もオフィシャルやエントラントの思いが通じたの

でしょう、2トライの始まる午後には雨も上がり、コンディションも良くなってきました。表彰式では恒例のシャンパンシャワーで盛り上がり、たくさんの賞品を手にした入賞者や、抽選会で思わぬ賞金を手にした参加者は、来年また会うことを約束していました。

'98ジムカーナは過去に無い盛り上がりで参加台数を数えました。クラブ員によるコースの清掃、草刈り等日頃からの地道な努力が少しずつ実を結んでいるのだと思います。

追伸 競技終了後、競技役員(おじさんクラス)による走行を同コースで行いましたが、会長のサイドターンを誰も信用せず、同乗者がサイドブレーキを引いたのではないかと



話を聞いた会長は同乗者に一生懸命証明させていました。1年くらいは自慢することでしょう。(CMSC青森 小館 久)

CMSC岩手 8月9日
ダイヤモンドトライアル

表彰式も恒例の盛り上がり。

お盆前の8月9日、北東北シリーズ「第1回岩手三菱ダイヤモンドトライアル」を開催しました。岩手県では今年初の、当クラブとしても1年ぶりの開催ということで参加台数等の不安もありましたが、61台参加ということでその不安もふっとびました。

梅雨明けもまだでしたが、天候も味方してくれたようで最高のコンディションとなりました。競技の方は事故などのトラブルも無く、オーバーオールもお約束のごとく「エボ」が取りました。表彰式ではスポンサーの皆様のおかげで豪華な賞品に、エントラントも満足の様子。特に恒例化?

した全員参加のジャンケンによる扇風機・自転車の争奪戦は最高に盛り上がりました。(CMSC岩手 工藤 長実)



CMSC島根 8月30日
'98CMSC島根チャレンジカップダートラ

伝統の晴天パワー、今年も!?

8月30日朝、当イベントは大雨、濃霧に見舞われ、比田スポーツランド山陰では40名のエントラントがうめしそに空を見上げていました。年2回のダートラ・ジムカーナ主催では、8年連続好天を記録していた当クラブ。オフィシャルの間では「今年はどうトズラしようか」なんて冗談も交わされたほど、赤土の路面はどんどんぬかるんでいきます。しかし、ゲストのラリーアート・須賀さんが晴れ男なのか、当クラブの伝統パワーなのか、試走車と共に雨は止み、霧は晴れたのです。

いつも通りの激走が展開され、いつも通り順調にスケジュールを消化し、トラブル車もほとんどなく終了しました。「無事これ名馬」という格言もありますが、朝、思い切り力こぶに気合いを入れたオフィシャルは肩

すかしをくらった感じで、あつけなような「雨応え」のないような大会でした。来年もいい天気でありますようにと願うとともに、もうひと工夫もふた工夫もして、おもしろい大会にしたいと思います。(CMSC島根 古藤浩美)



'98チャレンジカップ

福島奪首! 大阪とのマッチレースか?

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
福島	810	787.5			1597.5
大阪	909	545			1454
広島	418	530			948
道北	522	397			919
群馬	25	750			775
山形	319	301			620
青森	253	357			610
帯広	256.5	301			557.5
浜松	295	250			545
札幌	274	241			515
栃木	213	264			477
香川	262	196			458
岐阜	162	272			434
島根	216	145			361
岩手	115	212			327
秋田	66	185			251
鹿児島	182	60			242
埼玉	77	119			196
仙台	40	126			166
愛知	21	0			21
千葉	0	0			0

昨年の覇者福島がここでトップに立ちました。2位大阪とのトップ争いの様相です。広島が3位に浮上し上を狙って

いますが差はまだあります。個人部門でもトップ争いが激しくなっていて、どちらも予断の許せない展開ですね。

●ラリー・ドライバー部門

鎌田 豊	道北	260
杉山 聡	道北	199
坂田明朗	札幌	122
鷹野健太郎	道北	117
中尾 晃	鹿児島	101
岩見浩紀	道北	100
山口 修	鹿児島	90
二野下幸夫	広島	80
田口幸宏	埼玉	66
白井 修	香川	60

●ラリー・ナビゲーター部門

中村洋次	帯広	132.5
川村知恵	道北	117
梶山 剛	広島	80
内藤修一	道北	61
山地英樹	香川	44
横山 浩	札幌	41
平尾高王	香川	40
須田 力	秋田	40
船津康一	群馬	30
安藤朋司	岐阜	24

●ダートトライアル部門

秋間忠之	大阪	536.5
小出久美子	大阪	403.5
古澤裕久	群馬	401
河内 涉	広島	346
宝田芳浩	札幌	312
赤羽政幸	栃木	300
荒井信介	群馬	216
大泉 剛	福島	210
四戸岳也	岩手	206
湯本 敬	山形	200

●ジムカーナ部門

宇野慶一	青森	267
工藤裕史	青森	240
高野 聡	福島	164
平山敦朗	浜松	144
三崎朋弘	帯広	126
佐藤義隆	福島	124
渡辺 弘	福島	95
青沼達也	帯広	85
長内 豊	帯広	67
小館 久	青森	58

●レース部門

小川日出生	山形	184
エド・ムラサキ	山形	150
高橋しげる	仙台	122
川口法行	栃木	44
添田 正	栃木	44
内堀篤史	栃木	32
木下アキオ	山形	13

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
	B 20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

A=全日本選手権(含むレディースクラス)
地方選手権(除くレディースクラス)
全海外FIA ASN公認競技
但し、ラリーには各地区の最上級シリーズ
ダートトライアルにはオールスターダートトライアル
ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ
レースにはミラー・ジュニア、スーパー耐久シリーズを含む
B=それ以外の競技会